

幸せな人生って？～ザンビアで働く日本人を通して～

目的: ①人それぞれのいろいろな生き方を理解し、多様な価値観・他者の考えを尊重する態度を育成する。
②自分自身のオリジナルの人生設計、未来創造ができる。

対象: 高校1～2年生

時間: 50分×4

準備するもの: 人生すごろくゲーム/穴埋めプリント/さいころ/パソコン

学習の流れ

時間(分)	学習者の活動	進め方とポイント
導入 (50分)	「人生すごろくゲーム」 すごろくゲームを楽しみながら阿部しおりさん(ザンビアで働く日本人)とある主婦の人生を比較しながら追体験する。 すごろくの流れにそって穴埋めプリントを完成させよう “人生の大事な決断”(海外へ出るか、日本に留まるか)では、グループ一人一人の意見を聞き、どの道を選んでいくのかを話し合おう(選択するにあたって、「これだけは譲れない」という個人の意見をふまえて考えるよう声掛けをする) まとめ、すごろくゲームの感想を“決断”の発表 各グループの代表は全体場で発表、全体で共有(それぞれの人生を体験・比較して感じたこと、“人生の大事な決断”でその道を選んだ理由もふまえて)	○6人一組のグループを作る ○ルールの確認 ○各グループに分かれ、すごろくゲームをしよう 必ずグループ全員の意見を聞いて決めること
展開① (50分)	「阿部さんのインタビュー映像・ザンビアのことを伝えよう」 ○ザンビアの自然・人々の生活の様子を伝える ○ザンビアで働く日本人の紹介 ○働く日本人(阿部さん)と話した内容、教師自身の話 ○すごろくゲームの主人公の一人「阿部しおりさん」のインタビュー映像・ザンビアの映像を見ての感想をまとめる⇒全体共有	スクリーン・パワーポイント・インタビュー映像の事前準備
展開② (50分)	「身近な働く大人の話をお聴こう」 ○生徒の親、生徒の兄弟(兄か姉で働いている人)、校長先生、もしくは卒業生等のこれまでの人生について話を聴こう ○聞きたいこと・質問したいことがあれば聞いてみよう ○話をしてくれた方へ感想・感謝の手紙を書こう ○感想をみんなで共有しよう	生徒自身が協力して下さる方へのアポイントを取る
まとめ (50分)	「人生プランを作ろう」 ○これまでの授業の振り返り ○小学校、中学校、高校でそれぞれの時時期を振り返ろう ○高校を卒業した後のこと、こうなりたいと思う未来像を書き出す(進学、就職までではなく、仕事の取り組み、何を目標に生きるのか、その先のことまでもイメージするよう声掛けを行う) ○グループでそれぞれの人生プランを発表しよう ○各グループ発表 ○人生プランの作成、みんなの発表を聞いての感想をまとめよう ○感想をみんなで共有しよう	相手が考えた人生プランを受け入れ、応援する心を持って授業に臨めるよう、これまでの授業で得てきた内容「生き方、幸せの基準は人それぞれ」を再確認する。

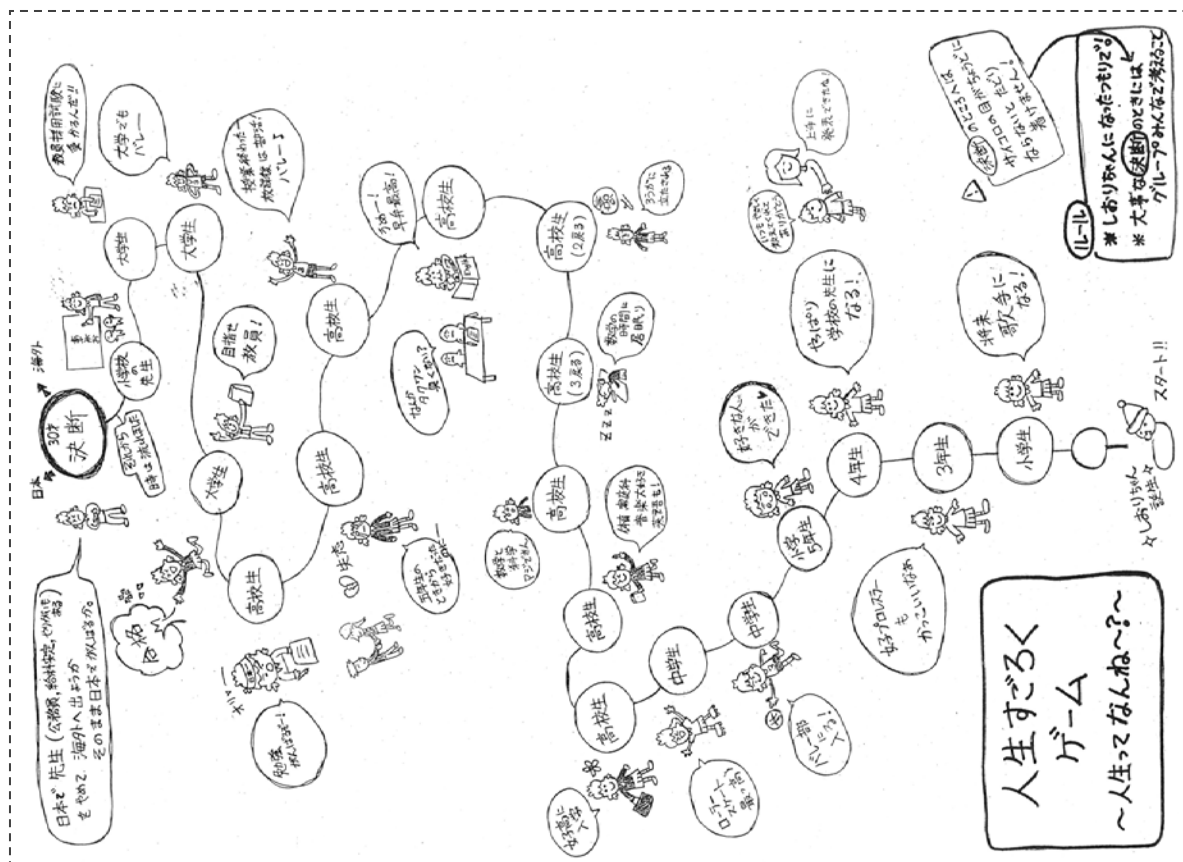
学習後の展開:

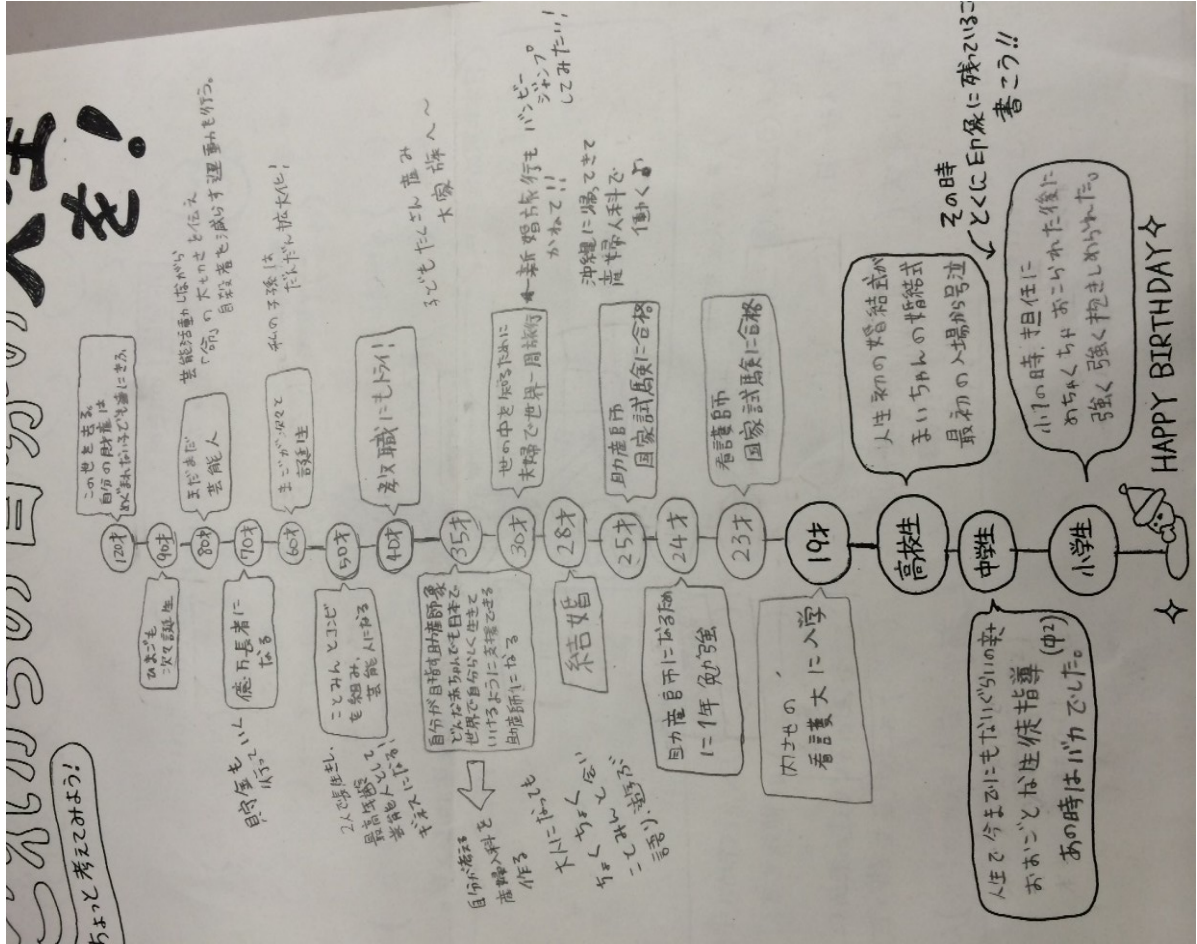
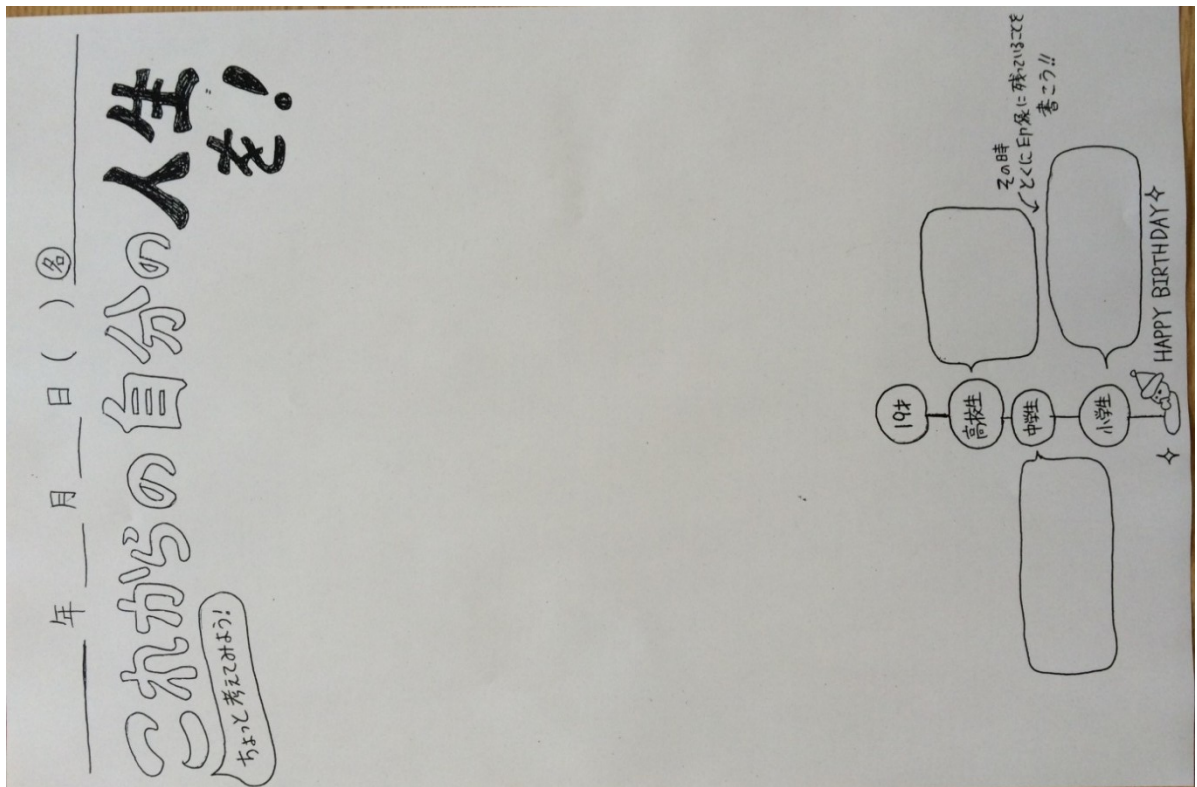
人それぞれいろいろな生き方があるということ。本人が満足し、幸せを感じることができる人生なら良いのだと生徒の感想から出てきたことから、他者の考えを尊重する姿勢や自分らしく生きることについての理解を深めていく。

※完全なデータは JICA 沖縄国際センター図書館で
ご覧になれます。

<教材> 人生すごろくゲーム

阿部しおりさんの誕生～30歳まで





<教材6>「ちよとを考えてみよう！これからの人生を！」プリント／解答例(生徒自身で考えたオリジナル人生プラン)